

一関工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	日本語 I
科目基礎情報					
科目番号	0029		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「日本文化における時間と空間」 著者: 加藤周一 発行: 岩波書店				
担当教員	平野 一成				
到達目標					
1. 一年をかけて教科書を最初から最後まで読み通す。2. 教科書の文章を正確に音読できるようになる。3. 教科書の文章が音読されたとき、それを聴いて理解できる。4. 日本語でプレゼンテーションできる。 【教育目標】 A・B					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	教科書とした「日本文化における時間と空間」は知の巨人と言われた加藤周一氏が時間と空間の二つの軸から日本文化の特質を探究した著作である。文学、絵画、建築など豊富な作品例を縦横に比較、参照し、日本文化を貫く時間と空間に対する独特な感覚に迫っている。この志向が日本人の宗教観、自他認識、さらに日常生活や政治行動をも規定しているという。このような日本文化の本質をふまえて、日本の歴史、政治、経済にも視野を広げていきたい。				
授業の進め方・方法	教科書の音読で授業を進めます。また教科書の文章に使われている言葉の意味を考えます。さらに書かれている内容についてそれぞれ自分の考えを述べ、議論します。教科書だけでなく、新聞や雑誌、リーフレットなどのさまざまな日本語の文章を利用し、日本の政治、経済の現状を見ていきます。				
注意点	授業で次の授業までに読んできてもらいたい部分を指定します。その部分は次の授業までに必ず目を通し、音読しておくこと。また日頃より日本語の全国紙や地方紙、テレビやラジオのニュースなどに親しみ、日本の政治、経済、文化の動向に関心を払ってください。 【事前学習】 授業で次の授業までに読んできてもらいたい部分を指定します。その部分は次の授業までに必ず目を通し、音読しておくこと。また日頃より日本語の全国紙や地方紙、テレビやラジオのニュースなどに親しみ、日本の政治、経済、文化の動向に関心を払ってください。 【評価方法・評価基準】 試験 100% で評価する。詳細は第1回の授業で告知する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本文化における時間と空間	概念的枠組みを理解する	
		2週	日本文化における時間	時間の類型を理解する	
		3週	日本語の特徴	語順や時制を理解する	
		4週	日本語の文学	文体や形式を理解する	
		5週	日本の芸術	日本の音楽や絵画のなかの時間を理解する	
		6週	日本語の文学	物語の文体を理解する	
		7週	中間試験		
		8週	日本語の文学	詩の形式を理解する	
	2ndQ	9週	日本語の文学	俳句の特徴を理解する	
		10週	日本語の文学	随筆の特徴を理解する	
		11週	日本の芸術	音楽のなかの時間を理解する	
		12週	日本の芸術	絵画のなかの時間を理解する	
		13週	日本人の行動様式I	神仏習合を理解する	
		14週	日本人の行動様式I	大勢順応の貫徹を理解する	
		15週	日本人の行動様式I	大勢順応の内面化を理解する	
		16週	期末試験		
後期	3rdQ	1週	日本文化における空間	空間の類型を理解する	
		2週	日本建築の空間	建築の空間を理解する	
		3週	日本絵画の空間	絵画の空間を理解する	
		4週	日本人の行動様式II	対外関係を理解する	
		5週	日本人の行動様式II	集団主義を理解する	
		6週	日本文化の特質	日本文化の特質を理解する	
		7週	中間試験		
		8週	日本国憲法	憲法の平和主義、国民主権や三権分立を理解する	
	4thQ	9週	日本の政治	国会や参政権、選挙を理解する	
		10週	日本の経済	貧困や格差、企業や政府の役割を理解する	
		11週	日本の経済	地震や津波、台風などの災害が経済に与える影響を理解する	
		12週	日本の歴史	明治維新や天皇制、日本の行った戦争を理解する	
		13週	日本の歴史	明治維新や天皇制、日本の行った戦争を理解する	
		14週	日本語によるプレゼンテーション	プレゼンテーション用のスライドや資料を日本語で作成する	
		15週	期末試験		

	16週	日本語によるプレゼンテーション	日本語でテーマを設定し人前で発表する
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標
			到達レベル
授業週			
評価割合			
	中間試験	期末試験	合計
総合評価割合	50	50	100
総合評価割合	50	50	100